

胎児心エコー検査

<染色体異常を伴わない心奇形発症のリスク> ([遺伝カウンセリングマニュアル]より抜粋)

年齢	≤15	16～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40≤
心奇形 オッズ比	0.59	0.87	1	1.30	1.38	1.43	3.95

オッズ比:ある事象の起こりやすさを2つの群で比較して示す 統計学 的な尺度

●対象:

①ご希望者(妊娠 19 週以降)

- ・ 高齢妊娠
- ・ ご家族に心疾患の方がいらっしゃる場合
- ・ 心疾患の赤ちゃんの妊娠歴がある場合
- ・ 初期に NT(項部浮腫)肥厚を認め、染色体異常はないが心奇形が心配な方
- ・ 心奇形以外の奇形の合併(一つ奇形があると他の異常の可能性も上がります)
- ・ 染色体異常が疑われた場合
- ・ 子宮内胎児発育不全
- ・ 妊娠中の薬物や放射線への曝露など

②一般胎児精密超音波検査(胎児ドック)で心奇形・胎児不整脈を疑われた方 (妊娠 16 週以降)

●検査時間:30 分～1 時間

※1 回の検査では診断ができず、繰り返し検査が必要なこともあります。

●担当医:[小児循環器医師 松井 彦郎先生](#)(東大病院 小児循環器 准教授)

●費用:

①自費 10,000 円+税

②保険適用 3,000 円程度

[*当院は胎児心エコー専門施設です](#)

●WEB 予約のみ

*心疾患の診断がついた場合には、分娩の場所や方法、出生後の治療方法などについて詳しくご説明をして、よりよい治療のスタートラインに立てるようにしていきます。

<一般胎児ドック(初期・中期・後期)との違い>

産婦人科医の行う一般の胎児精密超音波検査(胎児ドック)では胎児の全体を観察します。

その際に心臓の疾患を疑った時は、胎児心エコー外来の受診をして頂きます。

胎児心エコーは胎児の「心臓」に特化したもので、胎児の心臓を見慣れている小児循環器専門医の検査となります。

ご希望の方はどなたでも受けることができますが、必ず中期／後期胎児ドックの予約も取って下さい。

胎児の心臓以外の部分も観察が必要なためです。(他院でお済みの方はその限りではありません)